

淀川河川敷公有地（右岸柱本地先）利用について。

広大な河川敷公有地については、本来、治水そして自然環境保護と又は有効利用、その方法等いろいろの視点から議論の多いことと思うが、全国的に見ても例の多いパブリックゴルフ場としての利用など民間の活用を積極的に使って、大多数国民の福祉ニーズに応える意義を評価検討し対応したらよいと思う。私は地元住民の一高年齢者として具に、日常の状況を観察して居て、ここに次の諸点を強調して置きたい。

- 一、淀川河川敷という公有地は広大で然も都市近郊に在る貴重な広い空間である。
- 二、柱本地域に昔から居住する高年齢者として、ここは子供のとき、みんなで思う存分遊び、走り廻った懐かしい自然一杯の広い広い場所であった。
- 三、戦中は公認で当時の食糧不足を補うために一役買って芋畠として利用された。
- 四、戦後、柱本出身で（元）通産大臣、経企庁長官などを歴任された高崎達之助氏（故人）の推奨で乳牛の放牧場としても活用された。
- 五、昭和三十年代に入り京阪ゴルフが進出することになり、乳牛の放牧と仲良く共存するまことに長閑な牧歌的風情のあるゴルフ場時代があった。
- 六、その当時ゴルフ場進出は地元農村の女性雇用に関わり、それ以来現在に於ても、この地域居住者の雇用には常に意を用い、貢献している。その意味でも地域に密着した存在である。
- 七、今や、ゴルフは健康的でスッカリ大衆化した国民的野外スポーツとして老若男女に親しまれている。そして数あるゴルフ場の中でも京阪ゴルフは大阪近郊の中でも地理的に近く極めて便利。多くの利用者に親近感をもって愛されていると云えよう。
- 八、比較するのは些か憚るが隣接する国営の鳥飼上、三島江両公園は野球、テニス、サッカー、ラグビーなど主として運動公園としての機能を果たしており、市民の憩いの場として整備され歓迎されているのであるが、土、日、休日でも年間を通じてその利用は必ずしも高いとは云えない。まして週日は皆無に近い。それでも管理人の常駐パトロールを必要としている。相当な公費負担に鑑み、利用促進に工夫を要するのではないか。
- 九、それに比べ、京阪ゴルフ場は、昨今の平日休暇増加の影響もあってか、ウィークデーでもゴルフを楽しむ人を数多く見る。更に一層利用者に喜んで貰えるゴルフ場をモットーに早朝割引サービス（七時半まで入場者対象）を実施するなどプレーヤーの側に立った制度を実施し、経営者始め従業員の早朝勤務を行って努力している。またこれに依って、長期不況に依るゴルフ下振れ不振傾向の好転に役立てている。
- 十、経営状況一般
経営者は公有地利用の意義重要性を充分認識し、運営については、その筋からの指導指示遵守に格段の留意を払いながら且、合理化、効率性も考慮した経営姿勢を貫いていることが客観的に認められる。
かりそめにも最も大事な本流の流水汚染の誹りを受けないよう万全を期すること

は云うを俊たないところである。

十一、ゴルフ場の整備状況

概観的に極めて良好と云える。景観的にも良い。(立木など高さ制約の中で)経営トップの現場陣頭指揮もさることながらフェアウェイ、グリーン保守従業員の熱意もその作業振から感じられる。常にコースの改善整備に注力しコンディションは他のコースに優るとも劣らない。只コースが短いのが難点。これだけ広い面積をまさに民間活力の利用によって維持管理されている一つの好例と見るべきではないだろうか。

更に付け加えると、一例として右岸堤防の東側面(ゴルフ場の上北端三島江から下南端鳥飼上付近まで)の雑草刈りなど年間数回ゴルフ場側が奉仕的に実行し、保全に協力している。片方西側面は歳費で請負業者が実施している。